

沢田稲荷のけやき

平成二年一月 村重要文化財（天然記念物）指定

所在地 新鶴村大字和田目字杉免乙九三三

（沢田稲荷神社境内）

管理者 沢田部落

沢田部落の鎮守様である稲荷神社の社前右側にあり、樹齢およそ四百年以上であると思われる。この社の敷地は、当時沢田の地頭であった沢田兵庫光高の館跡であり、敷地内に五穀豊穰無病息災を祈願して稲荷神社を勧請したのが元亀元（一五七〇）年で、芦名十七代盛典の頃とある。このけやきも、それ以前かまたはそのときに植えられたものと思われる。樹高約二九メートル、幹囲約五メートルもあり、樹勢も盛んで四隣を圧している。



沢田稲荷のけやき